

授業科目名	民法概論	必修	開講年次	1	単位数	2
科目区分	専門科目／教科に関する科目（公民・社会）					
サブタイトル	私たちの生活と民法	担当者	手塚 一郎			
講義概要	<p>【概要】この講義では「民法」という名前の法律の全体像を見渡します。コンビニで買い物したことのある人、DVDをレンタルしたことのある人、携帯電話の家族割引に加入している人...あなたたちは既に民法の世界の主人公です。「人と人」「人と物」「家族」をキーワードに、法律という言葉が持つ「堅苦しい」とか「守らないと罰せられる」といったイメージを一新させる旅に出ることにしましょう。</p> <p>【到達目標】民法の全体像を理解し、さらに深く学ぶためのスタートラインに立つことが目標です。より具体的には「評価基準」の欄を参照してください。</p>					
履修条件	特になし。授業中の私語や携帯電話の使用は全面禁止とし、違反者は退室させます。なお、授業の運営方針、受講ルール、成績評価方法などの詳細は初回の授業でも説明します。					
教科書・参考書	<p>【教科書】池田真朗『スタートライン民法総論』（2,310円/ISBN:4535514038） 六法〔出版社は問わないが平成23年(2011年)版〕</p> <p>【参考書】大村敦志『市民社会と〈私〉と法Ⅰ』（1,575円/ISBN:9784785715441） 大村敦志『市民社会と〈私〉と法Ⅱ』（2,100円/ISBN:9784785717414）</p> <p>※他の参考書は授業中に必要に応じて紹介します。なお、参考書の購入は必須ではありません。</p>					
授業回数	内容	副題（サブタイトル）	教科書			
1	法律学の学習入門	知らないと後悔します！	—————			
2	民法入門[1]ウォーミングアップ	ようこそ、民法の世界へ！	[第1課]2～20頁			
3	民法入門[2]民法の特徴					
4	民法総則[1]民法総則のポイント	「総則」は共通ルールです。	[第2課]21～34頁			
5	民法総則[2]意思表示と法律行為					
6	債権法[1]債権法の基礎知識	守らなくてもよい法律がある？	[第3課]35～53頁			
7	債権法[2]契約法の重点学習(1)	売りましょう、買いましょう。				
8	債権法[3]契約法の重点学習(2)					
9	債権法[4]不法行為法の重点学習	他人にケガをさせてしまったら？	[第4課]54～76頁			
10	物権法[1]物権法の基礎知識	持ち主はとっても偉いのです！				
11	物権法[2]物権法総論の重点学習					
12	親族法[1]夫婦	永遠の愛を誓いますか？				
13	親族法[2]親子	親って結構大変です。	—————			
14	相続法	お金はあの世へ持っていきません。				
15	民法の全体像	民法は「金」と「男と女」の法律。	—————			
評価方法	(1)確認テスト（全14回）、(2)提出課題〔宿題〕（全3回）、(3)学期末レポート（全1回）の合計に、(4)授業への参加度（条文や教科書の音読等）を加味して、評価します。					
評価基準	上述の「到達目標」に示した内容の具体化として、(1)民法に関する最低限の専門用語を修得できればC評価、(2)民法が定める主な制度の意義(どんな制度で、なぜ存在するのか)を理解できていればB評価、(3)民法が定める制度を使うとトラブルがどのように解決されるのかを文章で説明できるようになればA評価とし、(1)に未到達の者はD評価またはE評価とします。					
その他	授業運営上インターネットを活用する予定のため、受講生は、携帯電話だけではなくパソコンでメールを送受信したり、インターネットへ接続したりする必要が生じます。					

